

第135回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

| | | | |
|-------------|---------------|---------------|-----------|
| 現 金 | 当 座 預 金 | 受 取 手 形 | 売 掛 金 |
| 前 払 金 | 立 替 金 | 未 収 入 金 | 土 地 |
| 建 物 | 備 品 | 買 掛 金 | 当 座 借 越 |
| 支 払 手 形 | 前 受 金 | 手 形 借 入 金 | 備品減価償却累計額 |
| 所 得 税 預 り 金 | 引 出 金 | 固 定 資 産 売 却 損 | 仕 入 |
| 減 価 償 却 費 | 手 形 売 却 損 | 租 税 公 課 | 支 払 手 数 料 |
| 通 信 費 | 雑 益 | 雑 損 | 受 取 手 数 料 |
| 現 金 過 不 足 | 固 定 資 産 売 却 益 | | |

1. 決算日において、現金過不足（過剰額）¥ 24,000 の原因を改めて調査した結果、通信費 ¥ 5,600 の支払い、および手数料の受取額 ¥ 27,600 の記入漏れが判明した。なお、残りの金額は原因が不明であったので、適切な処理を行う。
2. 先日受け取った佐藤商店振出しの約束手形 ¥ 500,000 を銀行で割引いたところ、割引料 ¥ 4,000 が差し引かれ、残額が当座預金口座に振り込まれた。
3. 不要となった備品（取得原価：¥ 300,000、減価償却累計額：¥ 108,000、記帳方法：間接法）を当期首に処分し、売却代金 ¥ 200,000 は月末に受け取ることにした。
4. 建物と土地に対する固定資産税 ¥ 640,000 の納税通知書を受け取り、第1期分 ¥ 160,000 を現金で納付した。このうち、事業用の割合は80%であり、店主用の割合は20%である。
5. 甲斐商店から商品 ¥ 900,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は ¥ 750,000 であるが、取引銀行と借越限度額 ¥ 1,000,000 の当座借越契約を締結している。

・解答

| | 借方科目 | 金 額 | 貸方科目 | 金 額 |
|---|-----------|---------|---------------|---------|
| 1 | 現 金 過 不 足 | 24,000 | 受 取 手 数 料 | 27,600 |
| | 通 信 費 | 5,600 | 雑 益 | 2,000 |
| 2 | 当 座 預 金 | 496,000 | 受 取 手 形 | 500,000 |
| | 手 形 売 却 損 | 4,000 | | |
| 3 | 備品減価償却累計額 | 108,000 | 備 品 | 300,000 |
| | 未 収 入 金 | 200,000 | 固 定 資 産 売 却 益 | 8,000 |
| 4 | 租 税 公 課 | 128,000 | 現 金 | 160,000 |
| | 引 出 金 | 32,000 | | |
| 5 | 仕 入 | 900,000 | 当 座 預 金 | 750,000 |
| | | | 当 座 借 越 | 150,000 |